

第6回東濃中部の医療提供体制検討会 議事概要

1. 日 時 令和元年8月7日（水） 13時30分～14時10分
2. 場 所 土岐市保健福祉センター・すこやか館 4階 大研修室
3. 出席者
土岐市：鷺見副市長、水野理事、下原総務部長、可知健康福祉部長、
田中土岐市立総合病院事務局長
瑞浪市：勝副市長、正村総務部長、加藤民生部長
JA岐阜厚生連：谷口常務理事、可児理事兼東濃厚生病院事務局長
事務局（土岐市）：林企画財政課長、柳河瀬主幹

4. 議事内容

（1）議題

「1病院化（再編）による新病院について」を議題に、別添資料をもとに事務局から説明後、構成員による検討を行った。

主な検討内容は以下のとおり。

<主な検討内容>

【第6回検討会での確認事項】

- 当検討会は公開とする。
- 座長は鷺見土岐市副市長、副座長は勝瑞浪市副市長とする。
- 先回までの検討結果を踏まえ、東濃中部地域は400床程度の急性期・回復期病床数に再編し、1病院化を図ることが最も適当であることを再確認。
- 新病院の設置場所について三者の意見
 - ・土岐市・・・既にある場所を有効活用すべき。
 - ・瑞浪市・・・既存の両病院の場所ではなく、両病院の中間地点に近い場所での設置が適当。
 - ・厚生連・・・市民にとっての利便性の確保や経営手法と合わせて検討するべき。
- 何を最も重要な要素として新病院の設置場所を決めるべきか、という論点が整理されていないため、今後は論点を整理した上での議論とする。
- 新病院の経営手法について三者の意見
 - ・土岐市・・・公設民営の妥当性を高く評価。
 - ・瑞浪市・・・民設民営を希望。
 - ・厚生連・・・民設民営は困難。
- 1病院化の実現には、設置場所の決定以降5年程度を要する。
- 1病院化にかかる経営手法、設置場所等については三者三様の意見であり、今回において結論を導き出すのは時期尚早のため、次回において議論をさらに深化させる。
- 両病院の機能分担については、関係者間で十分検討した後、検討会においても報告することとする。